



錦林小学校

臨時

NEWS LETTER



京都市立錦林小学校
606-8322 京都市左京区岡崎入江町1-1
TEL : 075-771-0921
FAX : 075-771-3622
E-mail : kinrin-s@edu.city.kyoto.jp

子どものためのアンケート（1回目）結果のお知らせ

保護者の皆様には、「子どものためのアンケート」（7月実施）にご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見、保護者の皆様や児童へのアンケートの結果、教職員の振り返りをふまえ、継続する取組や改善していくべきところを全教職員で共有し、保護者・地域の皆様と共に今後の錦林小学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。遅くなりましたが、結果の概要をお知らせいたします。

【アンケート方法】

それぞれの質問の項目について、児童・保護者・教職員の立場で回答できるようにしています。質問の文言は多少異なりますが、同じことがらについて、3者（児童・保護者・教職員）の意識におけるずれの有無がわかるようにするためにです。

【以下、アンケート結果より】

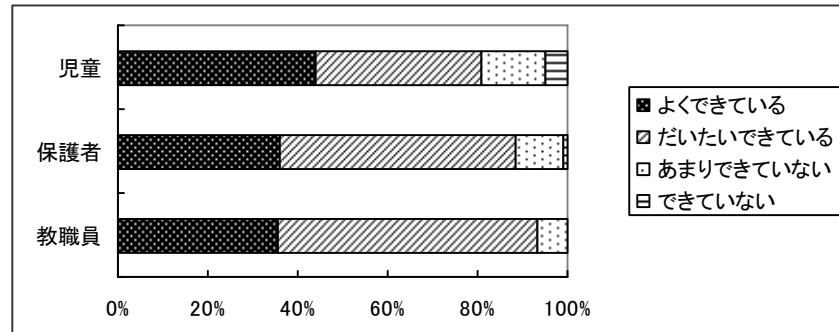
授業が分かりやすいか

「よくできている」「だいたいできている」と肯定的に回答している割合が、児童95.3%・保護者94%・教職員100%となりました。本校では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という方針のもと、学力向上の取組に関しては、全校調査やジョイントプログラム等の学力情報を共有して、日々の指導方法の改善や、個に合った指導に努めてきました。

学習したことが「分かる」から「できる」になるよう、1時間の授業の中で練習時間を確保したり、実際に学んだことを活用できる場面を意図的に設定したりしています。また、一人一台のGIGA端末が配備されたことで、より効果的に学習内容の定着が図れたり、子どもたちの学習意欲を引き出したりできる可能性が高まっています。教職員一同、さらについに児童の様子を把握し、指導方法の工夫を重ね、どの子にとっても分かりやすく、楽しい授業づくりに努めています。

分からないことや困ったことなどを先生に相談しやすいか

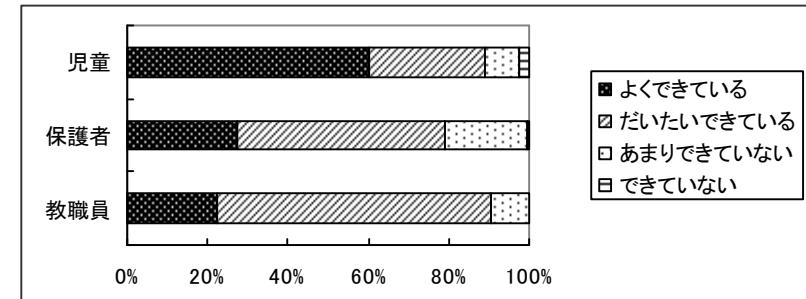
児童には「分からないことや困ったことなどを先生に相談しやすい」、保護者には「学校は、相談や質問がしやすい」、教職員には「子どもや保護者と会話・連絡等をする機会を積極的につくり、話を聞くようにしている」というように質問しています。



- よくできている
- だいたいできている
- あまりできていない
- できていない

進んであいさつをしているか

肯定的に回答している児童89%・保護者79%・教職員89.3%という結果でした。児童と保護者の回答結果に開きがあるのは、児童自身はあいさつをしているつもりなのですが、十分に相手に伝わるものにならないことがあります。「大きな声を出さない」指導のため、朝のあいさつも、給食のあいさつなども、小さな声や心の中で言うよう指導している部分もあるため、あいさつの習慣が薄れています。目を見て会釈すること、立ち止まって目を合わす、手をしっかりと合わせて心を込めるなど、新しい生活習慣の中でのあいさつの仕方を示していきたいと思います。

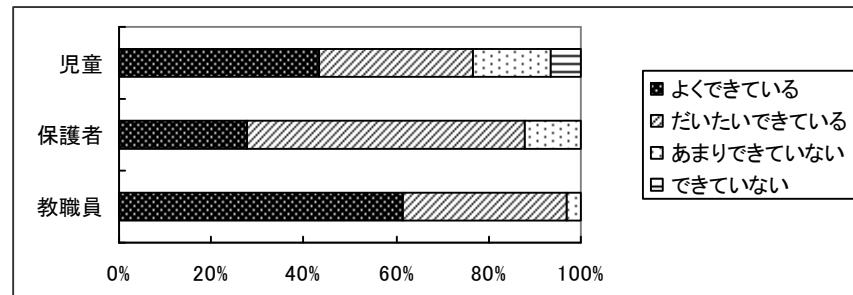


- よくできている
- だいたいできている
- あまりできていない
- できっていない

一方で他学年の児童同士が校内であいさつを交わす場面も見られます。家庭や地域においても相手に伝わる気持ちのよいあいさつは人間関係を築く上で、欠かせないものです。ご家庭でも、あいさつを交わすことを大切にし、児童へのお声かけを続けていただきたいと思います。

自分のよいところが言えるか

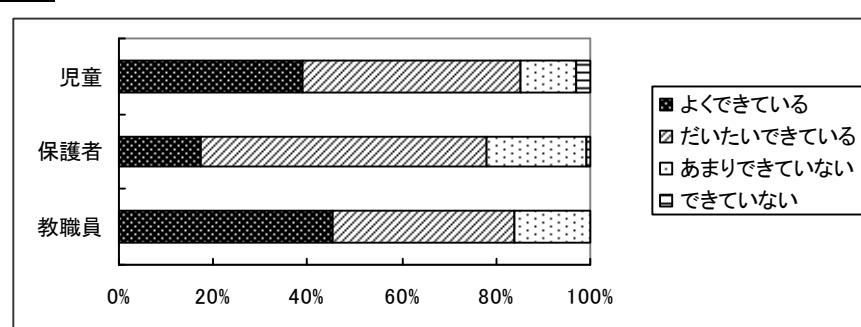
例年、本アンケートで、児童の肯定的な回答傾向が低い項目です。今回の結果では、76.6%の児童が「自分のよいところやがんばっていることが言える」と回答しています。経年変化で肯定的な回答



傾向を見てみると、R1年度では65.1%、R2年度では66.4%という結果になっており、少しずつではありますが、自分のよさやがんばっていることを認められる児童が増えてきていると考えられます。ご家庭で保護者の皆様がお子達のよさやがんばりを見取り、十分に認めていただいていることも増加に転じている一因と分析できます。学校でも、がんばっている具体的な姿を見つけること、結果だけでなくがんばった過程をほめること、教職員だけでなく児童同士が肯定的な言葉掛けをする取組をすすめています。何よりもご家庭と学校とがいっしょになって児童のよさを認めていく姿勢が大切だと考えます。今後も継続してこのような取組をおこない、一人一人が自信をもって様々なことにチャレンジできる心の強さにつなげていきます。

時間を守って生活しているか

児童のタイムマネジメントの力について問う質問です。この質問では、85.2%の児童が「できている」という回答をしています。教職員の回答もほぼ児童と同じ傾向にな



っています。学校では、今年度から児童自身が時計を見て行動できる力を持つための取組の一つとして、休み時間（中間休み・昼休み）の終わりに合図の音楽を鳴らさないという形に変更しました。高学年の児童が中心となって「5分前行動」を合言葉にして自分たちで時計を見て行動し、時には低学年の児童に「もう教室に帰る時間だよ」と声をかける姿も見られます。時間を守って行動することで、今まで以上に落ち着いて次の活動や学習に向かえているように感じられます。

学校では時間割が明確にされており、その中で児童は過ごすことになるので、時間を守ることについて意識しやすい環境であると言えるかもしれません。ご家庭で過ごす場合でも、1日の大まかな予定について計画を立てたり、生活習慣や時間の使い方を見直したりして、見通しをもって行動し、自分でよりよい生活リズムをつくることができるよう、ご支援ください。

【保護者アンケート（ご意見・ご感想の記入欄）より】

「登下校時の児童のあいさつや歩き方などのマナーが気になります。」

錦林小学校の校区はたいへん広いため、学校では毎日の登下校を安全に行き来できるよう、交通安全はもちろん、危険がひそむ場所や危険な行動など、学年に応じた指導や声かけをおこなっています。今後も安全教育の充実を図り、日常生活の様々な危険から自分を守るために知識と判断力を身につけることができるような取組を進めています。

また、保護者・地域の皆様には、登下校時に「ながら見守り」にご協力いただきたい、地域の学校安全ボランティアの皆様には、横断歩道や交差点などで児童の様子を見守っていただけたりしております。本当にありがとうございます。ただ、アンケート結果にもあるように見守っていただく方々へのあいさつが十分でないという課題も見られます。安心・安全を守るため、多くの方が支えてくださっていることに感謝の気持ちをもち、感謝の気持ちを表すためにどうしていけばよいのか、児童とともに考えていきたいです。各ご家庭でも同様のご協力をよろしくお願ひいたします。



「校内での保護者の写真撮影について、学校ではどのように決められていますか？」

学校は、大勢の児童が集まって学習する「学びの場」です。児童が落ち着いて学習に集中できるように、授業参観等における写真・動画の撮影はご遠慮いただいています。また、個人情報保護の観点からもこの主旨にご理解ご協力をお願いしたいと思います。なお、「入学式・運動会・学習発表会・卒業式」については、例外的に撮影可とさせていただきます。上記の主旨を十分ご理解のうえ、撮影をお願いいたします。ただし、撮影したものをホームページ・ブログ・SNS・動画投稿サイト等、インターネット上にアップロードすることはおやめください。ご理解・ご協力の程、よろしくお願ひいたします。

また、本校では宿泊を伴う学習に限り、業者による写真撮影をおこない、写真販売をおこなっております。あわせてお知りおきください。

児童にとっても、教職員にとっても励みになるようなご感想をたくさんいただいております。ありがとうございます。第2回「子どものためのアンケート」は12月に予定しています。

